

目標達成計画

作成日: 令和 5年 1月 24日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	(1) (10)	(1)理念に基づいた年間目標を四半期毎に振り返る (10)一人ひとりを支えるための事業所の多機能化として、事業所として、職員の目標マネジメントがまだできていない	医療生協の中にMBO(目標によるマネジメント)のシステムがあるので取り入れていく	理念は今後も館内掲示し、会議等での一言発信も継続していく MBOはまず勉強から始めていく	12ヶ月
2	(8)	コロナ禍でもできることを検討中であり、ご家族との面会も制限するため、毎月のお便りでもできなくなってきたこともありのまますを報告したり、日常の姿を写真など添付したりしているが、入居者様の様子がご家族に伝わりにくい	ご家族に安心していただけるように、入居者様の様子以外にも状態などもお伝えする	毎月のお便りで日常の様子他に、健康状態や認知症の症状なども定期的にお伝えしたり、グループホーム居住費助成や福祉給付金等名古屋市の制度などもご案内していく。	12ヶ月
3	(9)	入居時にご本人やご家族から希望や意向、生活歴等伺い、入居後はご本人とゆっくり話をして聞き取りをしているが、日々変化することを申し送りで情報共有していても共有できていないときがある	意向の把握をするための勉強をする	全職員でひもときセンター方式を学び、その人らしい生活が送れるようにする	12ヶ月
4	(10)	計画作成担当であるケアマネがご本人やご家族と話をしたり、日常の介護記録からも情報収集して、ダイレクトにプラン作りをしている。チームで支援方法を検討している	計画作成担当(ケアマネはご本人やご家族の意向も踏まえて)とチーム職員(常勤・非常勤すべての)が同じ介護目標を持ち支援する	介護計画の介護目標に対してチームで支援に取り組む、評価し、再立案し、検討し、取り組み、評価しと志を統一していく。 その他、情報管理のためにアセスメントシートなどは定期的に見直しをする。	12ヶ月
5	(12)	看取りの体制ができていない 現状では受けられないことを契約時に了承していただいている	看取りの体制を整えていく	看取りについての勉強を深めていく	12ヶ月
6	(13)	年に2回の避難訓練はできているが、火災時の避難誘導と火災時の対処法、備蓄食の試食以外はできていない	コロナ感染が治まってきたら、近隣施設と合同での訓練をする	合同訓練ができなくても、消防にご協力いただいたり、水消火器での訓練等、地域とともに取り組んでいく	12ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。